

# 令和2年度 後援会支部懇談会実施報告 (保護者からの要望・質問等集計結果)

## 1. 教務関係

①1年生～3年生は面接授業が始まっていますが、4年生からは今後どうなる予定でしょうか？

●後期からの全学年・全授業の原則面接授業化を想定していますが、前倒して夏休み明けからの可能性もあります。これについて、夏休み前に方針の確認を行う予定になっています。方針が固まり次第、学生・保護者の皆様にご連絡させていただきます。(予定通り、後期から対面授業を実施しています)

②テスト提出など期限があるものは、時間が混み合うとWi-Fi環境によっては、エラーになり時間を過ぎると提出できなくなるという事もありました。そういったケースもあるという事も先生方にはご承知おきいただきたいです。

●遠隔授業への対応を中心としたコロナ禍での学生評価については、文部科学省はじめ高専機構からも、柔軟な取り扱いをするように指示されており、本校においても、繰り返し周知とお願いをしてきたところ です。今後も繰り返し徹底を図ります。また、個別の事案については、学生から授業担当者に申し出ただけだと漏れ落ちがないと思いますので、ご対応をお願いします。(前期科目の単位評価については、特例措置を講じて対応しています)

③4年生の見学旅行やインターンシップなどはどうなるのでしょうか？

●4年生の見学旅行は中止が決定しており、現在、事務手続き中となっております。また、インターンシップは、地域企業・長岡市・JICAから抽出した課題に取り組む特別プログラムを学内で用意し、8月24日～28日にオンラインで実施予定になっています。

④インターンシップが学校で行われるということですが、具体的な内容を教えてください。

●JICA、市役所、技術協力会企業の課題解決をするプログラムになっています。1グループ5～6名です。

各グループにはメンターとして本校の卒業生、起業した卒業生、長岡技科大の学生が入ります。

議論成果報告会も行います。月・水・金曜日にテレビ取材が入る予定です。(HP等に記事が載っています)

⑤4年インターンシップでグループ内の活動に積極的に参加しないサイレントの学生がいたのは問題ではないでしょうか？

●オンラインでのインターンシップは、前例のない大きな挑戦であり、多くの心配がありました。全体としては上手く回せたものと評価しています。ただ、ご指摘のような問題があったことは学内でも指摘があり、今後の改善・指導が必要と考えています。(インターンシップ報告会を含め、指導をします)

⑥郵送で通知が来た遠隔授業の未提出課題は、必ず提出しなければならないのでしょうか？

●今年度はコロナ対応のオンデマンド型授業であり、課題提出を持って、出席扱いとしているため、単位を出すためには、課題提出が必要です。

⑦3年時の工場見学は実施できるのでしょうか？できない場合は、オンラインなどでの対応予定はありますか？

●現時点では10月末に実施予定です。状況によって、1学科40名を受け入れ可能な企業がない場合、工場見学に関連する時間を設ける予定です。(一部の学科を除いて、じっししました。HP参照)

⑧授業不足で研究は出来ますか？卒論は出来ますか？手技のない中で、授業(学力格差)への影響は出ませんか？

●6月から実験・実習を含め、卒研(5年生)・特別研究(専攻科)は実施しております。確かに以前と比べれば、時間的な制約はあると思います。そこで、研究室毎に時間と内容については、できる工夫をして効率的な取り組みになるようにお願いをしています。

大学が遠隔中心の取り組みしか出来ない中、長岡高専では、実験室での活動も必要最低限ですが、実施しておりますので、これが継続できれば、大きな影響にはならないと考えています。

また、学会発表等もほとんどがオンラインになっており、参加も可能となっています。

⑨未提出課題が1/3を超えなければ、進級できるのでしょうか？

●シラバスに明記してある通りに成績評価を行うため、課題未提出は成績に影響します。成績は、その後の進路選択にも関係するため、課題は提出した方が良いです。

⑩もし冬にコロナが広がるようであれば、学校の授業はどんなやり方になりますか？授業は前期と同じですか？

それとも工夫してもっとオンライン対面をやるのでしょうか？

そして、寮にコロナが発生した場合はどうする予定ですか？

●第2波の心配もあり、完全な対面授業ではなく、遠隔も併用した取り組みを継続してきました。

そして、これまでの遠隔授業の問題点もある程度見えてきました。

・課題の量と提出方法、期限管理など

・遠隔授業の内容(レベル)

・質問・理解度

これらの問題点を克服するような手段を考えると共に、学生とも情報共有してこれまでよりも相互の信頼と理解が増すような工夫をしたいと考えています。

また、学生寮でコロナが発生した場合は、保健所を通じた指導に従いながら、学びを止めない手法としては、寮生も家庭で遠隔授業に取り組んでもらう形になると思います。

⑪TOEICの試験について、現在抽選に落ち続けておりTOEICを受けることができません。

●学校でも、臨時の受験機会の提供を与えつづけようと考えています。

他大学については、TOEIC公式かIPでもよいのかはわからないので、自分の受験する大学の情報を調べる注意が必要です。(学校としても、英語科の協力の下TOEIC IPを実施しています)

⑫今後の遠隔授業に向けて、さらなる工夫と改善を期待しています。

今後はオンデマンドではないリアルタイム形式の採用も検討してほしいです。

個人で課題に取り組むばかりではなく、グループワークも仕掛けたらどうでしょうか？

●学生の受講環境に配慮して、今回の遠隔授業の枠組みを作りましたが、今回の方法が絶対的なものではありません。

今回の経験を踏まえて、また、頂いたアイデアも活かして、今後、再び遠隔授業に戻る場合には検討を進めたいと考えています。(遠隔授業に関するWGを設置して、振り返りと改善案等の情報を共有しています)

⑬今後、学年や学科、クラスを単位としたオンライン保護者会を検討したらどうでしょうか？支部懇談会では地区ごとになってしまい、不十分だと思います。

- 例年であれば、6月に合同保護者会があり、学年・クラスの保護者会が出来ましたが、今年度は開催を見送っていました。10月には保護者個別懇談会がありますが、保護者が一同に集まる機会が持てていません。  
来年度も合同保護者会が出来ない状況があれば、オンラインでの開催を検討したいと考えています。(後援会の努力もあり、支部懇談会等のイベントを中止することなく実施出来ましたが、参加率が低すぎます。もっと、保護者の方々の参加をお願いすると共に、改善策等もお寄せいただきたいと思います)

## 2. 学生生活関係

- ①コロナ禍の中、対面でのやり取りが少ないため、孤独や不安を感じてしまう学生もいると思います。  
同じ学年同士や、同じ学科の先輩からの話が聞けたらいいなと思います。  
学生同士の情報交換の場のようなものを学校として用意しているのでしょうか。そういったものがあるならば、具体的にどのような方法で、どれくらいの頻度で行っているか 教えていただきたいです。
- 遠隔授業の一環として、遠隔のホームルームを開催しているクラスがあります。  
確かに、学生同士のつきあひも減り、不安や孤独感を感じる学生もいると思います。そんな時は、学生相談室の利用や教職員に遠慮なく声をかけてください。対面授業が可能な時期は問題ありませんが、状況が悪化して再度遠隔授業になった場合は、ご指摘の通り情報交換の場などを新たに設定するなど、学校サイドでも工夫を考えておきたいと思います。加えて、学生会などの活動の一環として、学生同士の交流サイトなどを考えてもらうのもいいかもしれません。(今年度は、高志祭の中止など学生会イベントが実施出来ず残念でした。シュリンクするだけでなく、新しい挑戦に結びつけて欲しいと考えています)

## 3. 寮生活関係

- ①国際寮の入寮基準はどのようになる見通しですか？
- 数に制約があるので、当然、何らかの基準を設けることになります。詳細はこれから決まりますが、これまでの国際交流経験や留学生指導への貢献度などが考慮されると思います。

## 4. 就職・進学関係

- ①技大では毎年セコムホールでの企業説明会で450社あまりが参加します。会場に入れない企業もありますが長岡高専の求人企業などを教えていただくことは可能でしょうか？
- 求人企業については、各学科の就職担当の教員より学生へ求人企業の情報提供を行っております。(後期中間試験後に、技術協力会を中心に冬期オンライン企業ガイダンスを実施しました。HP参照)
- ②コロナ禍の中、今年の求人状況はよくないとは思いますが例年とは違うのでしょうか？  
戸田建設(株)の知人に聞いたところうちの会社はコロナ禍の影響は少ないと回答されました。高校時代の2才後輩の大手電子部品メーカーの執行役員からは海外の工場が稼働せず、令和2年度の決算で250億円の赤字とも聞きました。やはり長岡高専の求人も減少傾向なのでしょうか？
- 今年の求人は、現時点ではやや減少傾向にありますが、就職希望の学生に対して十分な求人数となっております。

③例年、機械系学科は物質工学科、環境都市工学科の3倍の求人があると思いますがその状況は今も変わらないのでしょうか？

●機械系の学科は広い分野からの募集がありますが、物質や環境都市はそれぞれの学科に応じた分野での募集となるため倍率に差が生じております。倍率に差はあるものの、どの学科でも就職先の企業は十分すぎるほどある状況となっており、問題はありません。

④全体的な進学率について、年々進学率が下がっている気がしています。個人的には進学率が高いほうが、レベルが上がっているという評価になるのではないかと考えられますが、この点について学校からどのように考えているのでしょうか？

●企業からの求人が上がっているなどの背景があり、就職希望が増えてきています。

また、進学では平成28年度以降に長岡技術科学大学が編入合格者数を減らしているのも影響しているのではないかと考えられます。

⑤求人におけるコロナの影響はどのようなものがありますか？

●若干コロナの影響がありました。

機械工学科の県内企業求人数が100を切ってしまったので、これは、コロナの影響かと思われま

す。今の数字は、コロナ前の求人数も含んでおり、コロナの影響があるかどうかは、読み取れない状況です。

重要なのは、今年の1月や2月にくる次年度の求人数です。

12月に本校のIn-portが企業説明会を開催しますので、積極的に参加をお願いいたします。[再掲\(後期中間試験後に、技術協力会を中心に冬期オンライン企業ガイダンスを実施しました。HP参照\)](#)

⑥学生本人が就職を希望していますが、保護者としては専攻科に進んでほしいと思っています。

いつぐらいにこの決定をすればいいのでしょうか？

●事務的な手続きは来年度の4月以降ですが、受験勉強をしておかないといけな

⑦対面授業の機会が減っている中、学生への進学・就職の情報が十分に伝わっているか心配です。

学生自身がどのように進路決定をしてきたか、大学や企業がどのように募集、採用試験をしているのか等の情報を得る機会が予定されてますでしょうか？

●学科毎に取り組みは異なりますが、主に進学は担任、就職は学科長が担当しています。

それに加え、研究室の担当教員も両面でバックアップしています。

例年は、企業の採用担当者と学科長が面談・説明を受けて、その結果・資料を開示しています(学生はいつでも閲覧可)。履歴書、面接練習等も対面、オンライン等で実施してきました。

ただ、今後はさらにオンラインでの面接が増えると予想されます。通常の面接とは異なる対応も必要な場面があり、オンライン面接で自分を上手く表現する工夫(練習)も必要と感じています。

「例年、長岡高専生が応募している大学、企業の募集に関する時期はメール、文書、電話等で情報が来ますが、情報が来ない場合もこちらから問い合わせをすると大学編入、会社の推薦応募枠がある場合もあります。担当教員と連携しながら、自分が将来、どこで何をしたいか考えるプロセスも大事と感じています。」(MB:村上)

後援会主催の進路ガイダンスが11月15日(日)にオンラインで開催予定です。教員による進学・就職情報ガイダンスと学生(5年生と専攻科生)の体験談報告会を予定しています。生の情報として役に立つと思います。

## ⑧就職希望か、進学希望かはいつ頃までに決定すれば良いですか？

●期限が決まっているわけではありませんが、学生と担任と相談しながら決めていくことになります。

4 年生後期の研究室配属後には、研究室の先輩の進路等を参考にできます。なかなか本人の進路希望が決まらない場合は、保護者の方からもアドバイスをしていただけるとよいと思います。(4 年次の最後、3 月に保護者会が設定されます。ここでは、どちらかの意志が決定していることが必要です)

## 5. その他

①短期海外派遣研修について今年中止となりましたが、来年実施となった時、希望者が多くなる可能性が考えられます。その際に全体の派遣人数を増やすことはありますか？

また希望者が多数となったとき、派遣される学生はどうやって選出しますか？

●今年の前期は本校の学生を海外へ送り出す方も、海外の協定校からの受け入れる方も、ともに中止で決定しています。今後、状況が改善されていれば、2021 年の 3 月に本校学生を海外の協定校に派遣することは検討しています。今年の 9 月に実施できるかどうかを判断する予定です。

派遣する学生の選考については、高学年を優先したいという希望があります。

これは在学中に一度は海外を経験してほしいからであり、4、5 年生のような高学年の学生は低学年の学生に比べてチャンスが少ないからです。加えて学生に書いてもらう海外派遣の志望動機や英語の成績を見て決定していきます。長岡高専としてはできるだけ、海外派遣を希望する学生を連れて行けるように動いていきます。(補足)

その後、7 月 27 日開催の国際交流推進センター会議で、ワクチンが提供される前の学生のグループ派遣はリスクが大きすぎるという理由で、今年度、海外派遣は実施しないことになりました。

(1 月にオンラインによる国際交流イベントが計画されています)

②来日できていない留学生にはどのように対応していますか？

●遠隔授業が引き続き続いているため、遠隔授業で対応しています。

低学年の対面授業についても遠隔授業で対応しています。

(書記から補足)

1 年生の PCSHS 留学生については、ソピット先生が補助教員として入り、Skype でのオンライン授業(実習除く)を実施しています。(11 月までに留学生全員が戻り、元気に活動を再開しています)

③コロナ禍の中、海外への海外派遣・留学の機会についてどのように考えているのかをおしえてほしいです。

●海外派遣研修については、今年度については海外に学生を派遣しないという決定をしました。

④来年度 1 学年入試に向けて、各学科の特徴を教えてください。

また、面接で何が聞かれるのか教えてください。(在校生の弟さんが受検予定)

●出席していた機械・電気電子・環境の各先生から学科の特徴を説明していただきました。

面接については、アドミッションポリシーに合致しているかどうかを見極める質問が行われ、回答内容だけでなく、マナーや態度も当然観察されています。(中学校でもしっかりした指導が行われているようですが、自分の言葉で説明できることが重要です)

⑤オープンキャンパスの Q&A がとても充実しているので、今後有効活用すべきだと思います。

●学内でも同様の意見が出ています。本当にいい財産が出来ました。

さらに情報の充実を図るとともに、有効活用も検討いたします。

⑥オープンキャンパスが現場で行えなかったのは残念です。素晴らしい施設・設備等を知っている立場としては是非見て欲しかったです。今後、中学生やその保護者に学校を見てもらえる機会を作ってほしいです。

●今回のネット・TV でのオープンキャンパスも高く評価されているが、現場を直接見ていただけていないのは学校としても残念です。

9 月下旬から県内各地で入試説明会が予定されており、長岡高専で 3 回開催が予定されています。

こうした折に校内見学も可能と思うので、可能な限りご案内させていただきます。(実際に、来校者に校舎内一部を見学していただきました)

⑦NCT 長岡との権利関係の整理が必要ですが、オープンキャンパスの学科紹介の部分を切り取って HP に貼り付け、ワンクリックで中学生などが見れるようにするといいいのではないのでしょうか。また、学科で YouTube チャンネルを作って、どんどん情報を流すといいいのではないのでしょうか。

学生に任せてもいいだろうし、中学生も見えてくれるはずです。

●中学生向けの情報提供の在り方については、頂いた提案を参考に、さらにブラッシュアップを図っていきたいと考えています。ご提案の通り、本校HP上に、オープンキャンパスの内容(長岡高専公式 YouTube チャンネル)と Q&A 集を掲載いたしました(10 月 29 日)。

⑧普通の飲み会をやって欲しです。

●同感です。

その他:BYOD (*Bring your own device*、ビーワイオーデイ)は、従業員が個人保有の携帯用機器を職場に持ち込み、それを業務に使用することを示します)についての教員の意見 BYOD の話をだしたところ、保護者の方の BYOD への期待、その必要性について共感してくださる保護者が多かったようです。中には子供に、あたらしい MACBOOK が出るたびに買ってあげている親もおられました。そうやって、コンピュータが使える子供になってほしいという思いが強いようです。

しかし、学校のほうではコンピュータがなくてもやっていけるような雰囲気があるので、この点には不満を感じられているようでした。

コンピュータを授業でよく活用するあまり活用しない、という次元の話ではなく、コンピュータを日常的に活用できる人材を育ててほしいという要望であったと思います。(BYOD については、近いうちにアナウンスする予定です)